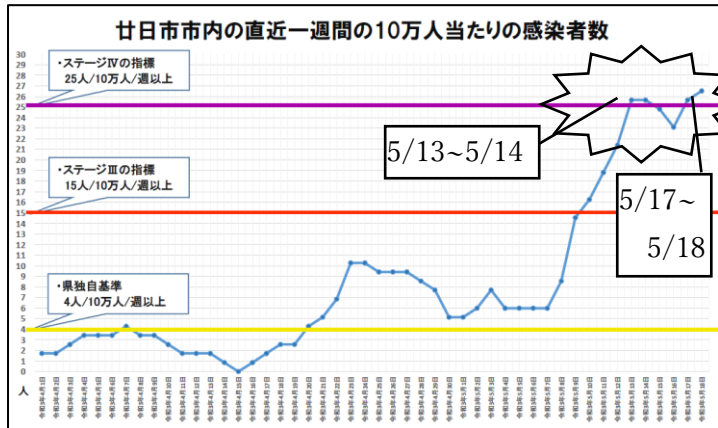


ほけんだより 6月

令和3年6月
佐伯中学校
保健室

例年になく早い梅雨入りでした。梅雨入りが早いと、雨が多く降るとか、梅雨明けも早いので夏が長いなど言われているようですが、大雨や台風被害がなく、暑さもほどほどで過ごしたいですね。

人一倍感染対策をしていたであろうCARP選手の集団感染に、驚いた人も多いのではないのでしょうか？ 第3波と違い、今回の第4波は、変異型が多いために感染しやすいという特徴があります。いつどこでだれが感染してもおかしくない状況とされています。



(廿日市市 HP より)

廿日市市も人口10万人当たりの感染者数が、ステージⅣ(25人以上)を超える日が増えていきます。

学校生活では、ほとんどの人が、マスクを着用し生活していますが、中には

マスク着用を守れない人が今だにいます。自分や周囲の人の命を守るために大切なマスク生活です。変異型ウイルスが増えているために、外でのマスクなしの会話や、運動で感染することも増えているようです。それを防ぐために、部活動も中止となっています。手を洗うために必要な石けんへのいたずらも、ずいぶん減ってきましたが、悲しいことに0にはなりません。人との距離はどうですか？ もぐれあって遊んでいませんか？ 一日も早く、元の生活に戻れるために、もう少し辛抱して、新しい学校生活様式を守り、元気に過ごしましょう。



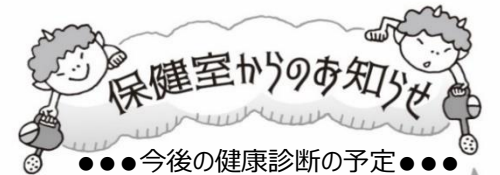
	令和元年	令和2年
むし歯罹患率	38%	35.9% ↓
むし歯のある人	27.3%	25.6% ↓
治療が終わった人	10.7%	10.3% ↓

佐伯中学校区は、保育園の時から、むし歯が多いことが最大の健康課題です。それを受け継ぎ、佐伯中学校も、毎年むし歯が多いことが、悩みの種です。取組の一環として、学校歯科医のナタリーデンタルクリニック金田竜典先生と、歯科助手の方にお越しいただき、歯についてお話をさせていただいたり、ブラッシング指導をしていただいたりしていました。しかし、去年は新型コロナウイルス感染症予防のために、実施することが出来ませんでした。今年度は、感染状況を見ながらですが、2学期に実施したいと思っています。



上の表を見ると、「むし歯罹患率」と「むし歯のある人」は若干減っていますが、治療が終わった人は、残念なことに減っています。今年度の健診は延期になっていますが、緊急事態宣言が解除になれば実施します。むし歯が見つかった人は、できるだけ早く治療に行きましょう。早く治療に行くと、通院回数も治療費も少なくて済みますよ。一石二鳥で

す。マスクをしているので、口の中を見ることもあまりないかもしれませんが、家で歯をみがく時に、鏡で自分の口の中を覗いてみましょう。むし歯で歯が黒くなっていますか？ 色付きリップや口紅でおしゃれをしても、笑ったときにむし歯があると、残念な口元になってしまいます。“口腔美人”“口腔イケメン”を目指しましょう。



●●●今後の健康診断の予定●●●
内科健診と歯科健診が延期となっています。緊急事態宣言が解除されてからの実施となります。日にちが決まり次第お知らせします。